



平成30年8月15日

各 位

会社名 株式会社アクトコール
代表者名 代表取締役社長 平井 俊広
(コード番号 6064 東証マザーズ)
問合せ先 専務取締役 菊井 聡
(TEL 03-5312-2303)

(訂正) 「平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年7月10日に開示いたしました「平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(平成30年8月15日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出および過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上



平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月10日

上場会社名 株式会社アクトコール 上場取引所 東
 コード番号 6064 URL <https://www.actcall.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平井 俊広
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 菊井 聡 TEL 03-5312-2303
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の連結業績（平成25年12月1日～平成26年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年11月期第2四半期 | 1,162 | 32.5 | △69 | — | △79 | — | △110 | — |
| 25年11月期第2四半期 | 877 | △0.9 | 32 | △83.2 | 25 | △86.9 | 6 | △93.1 |

(注) 包括利益 26年11月期第2四半期 △111百万円 (ー%) 25年11月期第2四半期 6百万円 (△92.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年11月期第2四半期 | △89.26 | — |
| 25年11月期第2四半期 | 5.26 | 4.98 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年11月期第2四半期 | 4,094 | 406 | 9.4 |
| 25年11月期 | 3,337 | 504 | 14.8 |

(参考) 自己資本 26年11月期第2四半期 385百万円 25年11月期 494百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年11月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 26年11月期 | — | 0.00 | | | |
| 26年11月期(予想) | | | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成26年11月期の連結業績予想（平成25年12月1日～平成26年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,976 | 52.1 | 282 | 186.8 | 250 | 244.0 | 130 | 462.8 | 105.64 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年11月期2Q | 1,239,800株 | 25年11月期 | 1,239,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年11月期2Q | 71株 | 25年11月期 | 71株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 26年11月期2Q | 1,239,729株 | 25年11月期2Q | 1,230,757株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要がみられるなど、景気は穏やかな回復基調で推移したものの、消費税増税が実施された平成26年4月以降は、消費マインドが弱まり、駆け込み需要の反動が表れる状況となっております。

当社グループを取り巻く環境はまだら模様です。不動産業界におきましては、増税前の駆け込み需要が見られたものの、4月以降は、消費税増税後の住宅取得推進に係る各種政策効果や消費税増税に伴う景気、物価への影響を見極める消費者の動きが感じられ、住宅需要が盛り上がる例年の春に比べ、成約数が伸び悩む状況となっております。

このような状況のもと、第1四半期連結会計期間に引き続き、グループ間シナジーを高める活動として、コールセンターの体制強化、前連結会計年度にリリースした家財総合保険付き緊急駆けつけサービスや家賃収納代行機能付き緊急駆けつけサービスなど複合サービスを中心に提携不動産会社の新規獲得に注力いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは、新規提携不動産会社獲得のための活動や月額制サポートサービスの拡販強化を行ったものの、新規サービスにおいて期初に想定した需要の増加は見られず、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,162,159千円(前年同期比32.5%増)、営業損失69,024千円(前年同期は32,382千円の営業利益)、経常損失79,901千円(前年同期は25,259千円の経常利益)、四半期純損失110,655千円(前年同期は6,476千円の四半期純利益)となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(住生活関連総合アウトソーシング事業)

住生活関連総合アウトソーシング事業においては、緊急駆けつけ等会員制サービス、コールセンターサービス、その他住生活に関わるサービスの開発、提供を行っております。

会員制サービスにおいては、月額制の家財保険付き緊急駆けつけサービスや家賃収納代行機能付き緊急駆けつけサービス等新サービスの営業を春の入学・転居シーズンにあわせ強化したものの、これらサービスの需要が期待通りに伸びず、同四半期会計期間末時点の累計有効会員数は329千人に留まりました。

コールセンターサービスにおいては、不動産会社向けアウトソーシングサービス「アクシスライン24」の新規受託社数が堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は893,412千円(前年同期比6.3%増)、営業損失は42,338千円(前年同期は47,176千円の営業利益)となりました。

(不動産総合ソリューション事業)

不動産総合ソリューション事業においては、テナント出店代行サービス、セミナー開催等の独立開業等支援サービス、さらには不動産開発プロジェクトへの参画やそれに関わるサブリースやPM業務等不動産に関連する様々なサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間は、第1四半期連結会計期間に引き続き、前連結会計年度より手がける不動産開発プロジェクトの推進に注力をいたしました。

以上の結果、不動産総合ソリューション事業の売上高は105,792千円(前年同期比184.0%増)、営業損失は47,335千円(前年同期は24,301千円の営業損失)となりました。

(家賃収納代行業業)

家賃収納代行業業は、前連結会計年度において連結子会社となった株式会社インサイトにおける事業であり、不動産管理会社における家賃の請求業務から収納業務、家賃の滞納が発生した場合の未納通知の発送など、不動産賃貸住宅の特性を踏まえた機能を盛り込んだ家賃決済業務のアウトソーシングサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間は、家賃決済サービス取扱件数は堅調に推移いたしました。この結果、家賃収納代行業業の売上高は163,153千円、営業利益は15,798千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,094,720千円となり、前連結会計年度末に比べ757,333千円増加しました。流動資産は2,709,221千円(前連結会計年度末比250,293千円増)となりました。主な増加原因は未収入金154,588千円、立替金125,710千円がそれぞれ増加したことなどによるものであります。また固定資産は1,385,499千円(前連結会計年度末比507,039千円増)となりました。主な増加原因は建物及び構築物90,693千円、土地156,483千円、投資有価証券227,305千円がそれぞれ増加したことなどによるものであります。

(負債の部)

負債につきましては、3,688,323千円となり、前連結会計年度末に比べ855,559千円増加しました。流動負債は2,958,199千円(前連結会計年度末比910,915千円増)となりました。主な増加原因は短期借入金800,000千円、未払消費税等32,419千円、預り金34,742千円がそれぞれ増加したことなどによるものであります。また固定負債は730,123千円(前連結会計年度末比55,355千円減)となりました。主な減少原因は長期前受収益は46,040千円が増加した一方、長期借入金が104,747千円減少したことなどによるものであります。

(純資産の部)

純資産につきましては、406,396千円(前連結会計年度末比98,226千円減)となりました。主な減少要因は利益剰余金が110,655千円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は836,561千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は、152,511千円となりました。これは、主に減価償却費49,273千円の計上、のれん償却費17,873千円の非現金支出費用などがあつた一方で、税金等調整前四半期純損失の計上81,540千円や未収入金の増加額154,588千円があつたことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、538,217千円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出275,137千円、投資有価証券の取得による支出375,354千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により得られた資金は、696,423千円となりました。これは、主に短期借入金の純増加額800,000千円などによるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月期の業績につきましては、平成26年1月15日に公表しました連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 935,366 | 940,081 |
| 売掛金 | 104,619 | 140,422 |
| 未収入金 | 485,612 | 640,201 |
| 商品 | 233 | 349 |
| 貯蔵品 | 2,619 | 10,154 |
| 前払費用 | 54,143 | 56,897 |
| 繰延税金資産 | 318,502 | 264,959 |
| 差入保証金 | 23,540 | 23,540 |
| 立替金 | 473,567 | 599,278 |
| その他 | 63,019 | 37,973 |
| 貸倒引当金 | △2,296 | △4,636 |
| 流動資産合計 | 2,458,927 | 2,709,221 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 74,358 | 170,423 |
| 減価償却累計額 | △20,380 | △25,752 |
| 建物及び構築物(純額) | 53,977 | 144,671 |
| 車両運搬具 | 15,566 | 15,566 |
| 減価償却累計額 | △11,378 | △12,252 |
| 車両運搬具(純額) | 4,187 | 3,314 |
| 工具、器具及び備品 | 120,712 | 132,894 |
| 減価償却累計額 | △78,651 | △88,741 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 42,060 | 44,152 |
| 土地 | — | 156,483 |
| 建設仮勘定 | — | 7,092 |
| 有形固定資産合計 | 100,226 | 355,715 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 330,262 | 312,965 |
| ソフトウェア | 177,049 | 162,541 |
| ソフトウェア仮勘定 | — | 2,916 |
| 無形固定資産合計 | 507,311 | 478,422 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 84,822 | 312,128 |
| 関係会社株式 | — | 14,345 |
| 出資金 | 550 | 580 |
| 長期前払費用 | 5,402 | 7,208 |
| 敷金及び保証金 | 66,043 | 84,916 |
| 長期貸付金 | 15,000 | — |
| 長期預金 | — | 7,000 |
| 繰延税金資産 | 88,897 | 114,978 |
| その他 | 10,204 | 10,204 |
| 投資その他の資産合計 | 270,921 | 551,361 |
| 固定資産合計 | 878,459 | 1,385,499 |
| 資産合計 | 3,337,387 | 4,094,720 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 49,817 | 61,697 |
| 短期借入金 | 500,000 | 1,300,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 201,214 | 196,384 |
| 未払金 | 72,735 | 88,640 |
| 未払費用 | 28,471 | 41,508 |
| 未払法人税等 | 2,480 | 7,558 |
| 未払消費税等 | 1,516 | 33,935 |
| 前受金 | 12,716 | 31,787 |
| 前受収益 | 698,982 | 683,328 |
| 預り金 | 441,438 | 476,180 |
| 賞与引当金 | 9,254 | 7,774 |
| その他 | 28,656 | 29,404 |
| 流動負債合計 | <u>2,047,284</u> | <u>2,958,199</u> |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 556,731 | 451,984 |
| 長期前受収益 | 203,307 | 249,348 |
| 退職給付引当金 | 21,684 | 26,890 |
| 役員退職慰労引当金 | 1,900 | 1,900 |
| その他 | 1,856 | — |
| 固定負債合計 | <u>785,478</u> | <u>730,123</u> |
| 負債合計 | <u>2,832,763</u> | <u>3,688,323</u> |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 283,801 | 283,801 |
| 資本剰余金 | 222,132 | 222,132 |
| 利益剰余金 | <u>△10,587</u> | <u>△121,243</u> |
| 自己株式 | <u>△124</u> | <u>△124</u> |
| 株主資本合計 | <u>495,221</u> | <u>384,566</u> |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | <u>△498</u> | <u>736</u> |
| その他の包括利益累計額合計 | <u>△498</u> | <u>736</u> |
| 新株予約権 | 9,900 | 9,900 |
| 少数株主持分 | — | 11,193 |
| 純資産合計 | <u>504,623</u> | <u>406,396</u> |
| 負債純資産合計 | <u>3,337,387</u> | <u>4,094,720</u> |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日) |
|-------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 877,150 | 1,162,159 |
| 売上原価 | 422,849 | 601,720 |
| 売上総利益 | 454,301 | 560,438 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬 | 51,360 | 65,560 |
| 給料 | 108,219 | 191,938 |
| 賞与 | 9,310 | 10,850 |
| 法定福利費 | 19,729 | 35,349 |
| 地代家賃 | 19,325 | 28,644 |
| 減価償却費 | 17,098 | 27,322 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 2,340 |
| 賞与引当金繰入額 | — | 7,774 |
| 退職給付費用 | — | 5,206 |
| 旅費及び交通費 | 28,787 | 32,082 |
| 支払手数料 | 14,194 | 18,533 |
| 顧問料 | 35,565 | 22,764 |
| 販売促進費 | 18,687 | 14,676 |
| 消耗品費 | 5,355 | 3,959 |
| その他 | 94,287 | 162,460 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 421,919 | 629,462 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 32,382 | △69,024 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,064 | 1,449 |
| 受取配当金 | 39 | 64 |
| 還付消費税等 | — | 987 |
| 貸倒引当金戻入額 | 401 | — |
| 雑収入 | 197 | 2,172 |
| 営業外収益合計 | 1,703 | 4,674 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,225 | 10,656 |
| 持分法による投資損失 | — | 755 |
| 支払手数料 | 5,600 | 3,739 |
| 雑損失 | — | 400 |
| 営業外費用合計 | 8,825 | 15,551 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 25,259 | △79,901 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 1,638 |
| 特別損失合計 | — | 1,638 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 25,259 | △81,540 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 406 | 4,354 |
| 法人税等還付税額 | △5,182 | — |
| 法人税等調整額 | 23,559 | 26,746 |
| 法人税等合計 | 18,783 | 31,101 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | 6,476 | △112,641 |

| | | |
|-------------------|-------|----------|
| 少数株主損失(△) | — | △1,986 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 6,476 | △110,655 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日) |
|---|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△) | 6,476 | △112,641 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 234 | 1,235 |
| その他の包括利益合計 | 234 | 1,235 |
| 四半期包括利益 | 6,711 | △111,406 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 6,711 | △109,420 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | △1,986 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 25,259 | △81,540 |
| 減価償却費 | 27,940 | 49,273 |
| のれん償却額 | — | 17,873 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △401 | 2,340 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | — | △1,480 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | — | 5,206 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,103 | △1,514 |
| 支払利息 | 3,225 | 10,656 |
| 持分法による投資損益(△は益) | — | 755 |
| 固定資産除却損 | — | 1,638 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △30,064 | △35,802 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 323 | △7,652 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 6,946 | 11,880 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | 5,837 | △154,588 |
| 前払費用の増減額(△は増加) | 4,598 | △3,998 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △10,585 | 15,344 |
| 前受収益の増減額(△は減少) | △84,985 | 30,386 |
| その他 | △6,775 | △33,434 |
| 小計 | △59,785 | △174,655 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,008 | 758 |
| 利息の支払額 | △3,736 | △11,224 |
| 法人税等の支払額 | — | △2,554 |
| 法人税等の還付額 | 4,078 | 35,163 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △58,434 | △152,511 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △101,000 | △6,019 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △65,555 | △275,137 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △6,775 | △19,399 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △251 | △375,354 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 100,000 |
| 投資有価証券の償還による収入 | — | 50,000 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △253,927 | — |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | — | 6,950 |
| 関係会社株式の取得による支出 | — | △15,100 |
| 出資金の払込による支出 | △10 | △30 |
| 貸付けによる支出 | △15,000 | — |
| 貸付金の回収による収入 | — | 15,000 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △20,755 | △19,835 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | — | 710 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △463,275 | △538,217 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | — | 800,000 |
| 長期借入れによる収入 | 580,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △45,661 | △109,577 |

| | | |
|---------------------|-----------|---------|
| 少数株主からの払込みによる収入 | — | 6,000 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 534,339 | 696,423 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 12,629 | 5,694 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,043,525 | 830,866 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,056,155 | 836,561 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|-------------------------|---------------------------|------------------------|--------------|---------|-------------|---------------------------|
| | 住生活関連総合 アウトソーシング 事業 | 不動産総合ソ リューション事 業 | 家賃収納代行 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 839,893 | 37,257 | — | 877,150 | — | 877,150 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | 300 | — | — | 300 | △300 | — |
| 計 | 840,193 | 37,257 | — | 877,450 | △300 | 877,150 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | 47,176 | △24,301 | — | 22,874 | 9,507 | 32,382 |

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額9,507千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 家賃収納代行事業は、当該事業を営む新規連結会社のみなし取得日を前第2四半期連結会計期間末としており、前第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|-------------------------|---------------------------|------------------------|--------------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 住生活関連総合 アウトソーシング 事業 | 不動産総合ソ リューション事 業 | 家賃収納代行 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 893,212 | 105,792 | 163,153 | 1,162,159 | — | 1,162,159 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | 200 | — | — | 200 | △200 | — |
| 計 | 893,412 | 105,792 | 163,153 | 1,162,359 | △200 | 1,162,159 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | △42,338 | △47,335 | 15,798 | △73,875 | 4,850 | △69,024 |

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引の消去20,529千円及びのれんの償却△15,678千円であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。